



週間情報



No.0535

発行日 令和5年9月26日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

消防本部の動き

訓練

◆ 列車内進行型殺傷事件対応訓練を実施

東大阪市消防局（大阪）

東大阪市消防局では、令和5年8月30日（水）、近鉄東花園駅において、近畿日本鉄道、大阪府警察と合同で、列車内進行型殺傷事件対応訓練を実施しました。

当日は、警察官が救急隊を護衛した状態で救急活動を実施したほか、警察官による指導のもと護身術訓練を実施しました。

今後も、各関係機関と訓練を継続し、市民生活の安全確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練動画の二次元コード】

◆ 合同水難救助訓練を実施

田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和5年9月1日（金）、田原市白谷海水浴場において、豊橋市消防本部と合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、両消防本部が保有する水上バイクを活用した水難救助技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、操船技術や海面にいる要救助者を素早く水上バイクで救出する要領を確認した後、意見交換を実施しました。

今後も、合同訓練を継続し、水難救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防救急活動訓練を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和5年9月5日（火）、今年度採用された職員4人を対象に、消防救急活動訓練を実施しました。

この訓練は、消防学校で約半年間かけて習得した知識、技術、体力を評価し、消防職員としての能力を確認するとともに、現場対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、4人の新採用職員が連携して、消火活動訓練、応急はしご救出訓練、救急活動訓練を実施しました。

今後も、地域住民の安全・安心のために、訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】

◆ 大型自動車交通事故救助訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和5年9月5日（火）、株式会社ナカタイと株式会社赤尾の協力のもと、大型自動車交通事故救助訓練を実施しました。

当日は、「大型自動車と普通乗用車の交通事故が発生した。」との想定で、大型油圧救助器具を活用したドアの開放や、フロント部分の拡張の訓練を実施しました。

また、株式会社赤尾の職員から、最新の救助資機材を活用した救出方法についてご講義いただきました。

訓練を通じて、大型自動車の重量やボディの厚みなどを知ることができ、大型自動車事故による交通救助活動について確認することができました。

今後も訓練を継続し、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 鉄塔事故対応訓練を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和5年9月8日（金）、中部電力パワーグリッド株式会社の協力のもと、鉄塔訓練施設を活用した鉄塔事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、鉄塔という特殊な環境下での活動に必要な知識や活動技術を習得し、安全・確実・迅速な救助活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、同社の職員から、送電設備、墜落防止装置、安全器について説明を受けた後、鉄塔昇降訓練を実施しました。

今後も、市民の安全・安心な暮らしにつながるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警防技術研究会を実施

白河地方広域市町村圏消防本部（福島）

白河地方広域市町村圏消防本部では、令和5年9月4日（月）から11日（月）までの8日間、全職員を対象とした警防技術研究会を実施しました。

この研究会は、さまざまな火災想定訓練を実施し、安全性、確実性、迅速性を審査するもので、基本的な技術と機械器具の操作技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、3消防署を会場に全小隊が参加し、基本事項の再確認と消火技術の向上を図りました。今後も、地域住民の安全・安心のために、訓練を継続してまいります。



【研究会の様子】

研 修

◆ 分娩介助実習を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和5年9月8日（金）、救急隊員研修会として、分娩介助実習を実施しました。

この実習は、周産期救急に関する知識や技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当市の二次医療機関の産婦人科専門医と助産師を講師にお招きし、実践的な周産期救急についてご指導をいただき、救急隊員の知識と技術の向上を図ることができました。

今後も、母子の大切な命を守るために、救急隊員の教育を継続してまいります。



【実習の様子】

◆ ハラスメント研修会を実施

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和5年9月7日（木）、8日（金）の2日間、ハラスメント研修会を実施しました。

この研修会は、昨年度に引き続き、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師にお招きし、昨年度の未受講職員を対象にご講義いただいたものです。

当日は、ワークショップ形式で問題点の洗い出しと解決策について認識を共有するなど、未来の組織づくりにつながる貴重な研修会となりました。

今後も、消防業務の遂行のため、より良い労働環境を整備し、市民の安全・安心のために尽力してまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、令和5年9月7日（木）、救急活動協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年6月14日（水）、管内の商業施設の駐車場において、車内で心肺停止となっている女性に対して、当消防本部の指令課員から知らせを受けた同施設に勤務する警備員が現場へ駆けつけ、女性の家族と協力して胸骨圧迫を行うとともに、AEDを使用した除細動を行い、救急隊が到着する前に自発呼吸が再開したものです。

女性は、医療機関で治療後、社会復帰しました。

指令課員の的確な判断と、協力者の迅速な行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力団体に感謝状を贈呈

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、令和5年9月11日（月）、消防協力団体（2団体）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年5月20日（土）、刈谷市内にある飲食店内で突然倒れた50代の男性に対して、職場の同僚7人と同飲食店の従業員2人が協力し、119番通報、胸骨圧迫、AEDを使用した除細動を実施し、救急隊へ引き継いだものです。

男性は、医療機関で治療後に、社会復帰しました。

協力者の積極的かつ的確な行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影 ※1人欠席】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

吉川松伏消防組合消防本部（埼玉）

吉川松伏消防組合消防本部では、令和5年9月12日（火）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年7月15日（土）、管内において心肺停止となった男性に対して、2人が協力して、救急車が到着するまでの間、胸骨圧迫を実施したものです。

男性は、搬送先の病院で治療後に、社会復帰しました。

消防長から、「居合わせた方々が協力し、迅速な通報、AEDの手配、胸骨圧迫の実施と教科書通りの応急手当を実施し、救命につなげてくれました。この功績は多大なものであり、その勇気ある行動に対し、深く感謝の意を表します。」と謝辞を述べました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「夏休み特別版・消防ふれあい広場」を開催

習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和5年7月22日（土）、8月26日（土）の2日間、「夏休み特別版・消防ふれあい広場」を開催しました。

これは、市民に対して、消防業務を身近に感じていただくために毎月開催している、「消防ふれあい広場」の内容をさらに充実させて開催したものです。

当日は、消防車・消防資機材の展示、梯子車の乗車体験、放水体験、子ども用防火服の着装体験、ロープ渡過体験を行ったほか、住宅用火災警報器の説明や、DVD上映・PR動画による広報を実施しました。

今後も、火災予防の啓発活動を継続し、市民にとって身近で頼れる消防本部を目指してまいります。



【ロープ渡過体験の様子】



【放水体験の様子】

◆ 旦過青空市場において消防訓練を実施

北九州市消防局（福岡）

北九州市消防局では、令和5年8月29日（火）、小倉北区の旦過青空市場において、消防訓練を実施しました。

この訓練は、昨年、旦過地区で発生した2回目の火災から1年が経過したことから、同様の火災が発生した場合に、安全・的確な火災現場の対応につなげることを目的として実施したものです。

当日は、火災発生場所の跡地に整備された仮設店舗の旦過青空市場において、火災通報装置を活用した通報要領、避難誘導要領、初期消火要領などについて市場関係者に説明した後、防火指導員（元当消防局職員）が火災予防の重要性について説明しました。

今後も、消防が調整役となり、地域が自主的・定期的に訓練が実施できるよう後押ししてまいります。



【初期消火の様子】



【通報の様子】

◆ 救急広報イベントを実施

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和5年9月5日（火）、救急医療週間の一環として、イオンモール浜松市野において、東京2020オリンピックで金メダルを獲得した、ソフトボール日本代表の渥美万奈氏（浜松市出身）をお招きし、救急広報イベントを実施しました。

このイベントは、来場者に救急に関する情報を広報することを目的として実施したものです。

当日は、心肺蘇生法の展示、電動ストレッチャーを使用した救急隊員体験などを行ったほか、当局が救急に関する情報をまとめた「119救急ガイド」を配布しました。

今後も、救急に関する普及啓発に努めてまいります。



【救急広報イベントの様子】

◆ オンライン救命講習を実施

大分市消防局（大分）

大分市消防局では、令和5年9月5日（火）、救急医療週間の一環として、小学6年生を対象としたオンライン救命講習（救命入門コース）を実施しました。

この講習は、幼少期から応急手当に関する意識を醸成し、バイスタンダー育成の基礎をすることを目的として実施したものです。

当日は、大分救急医学会の医師を講師として、救命の連鎖やAEDに関する講義を行った後、ペットボトルと胸骨圧迫訓練シートを活用して、「強く・早く・絶え間なく」を合言葉に、生徒同士で胸骨圧迫時の姿勢や圧迫位置を確認しながら実技を実施しました。

生徒からは、「楽しく学ぶことができました。」「胸骨圧迫の大切さが分かりました。」などの声を聞くことができました。

今後も幅広い世代に対して、応急手当の啓発活動を行っていくとともに、市民が受講しやすい環境を整備し、バイスタンダーの育成に努めてまいります。



【オンライン救命講習の様子】



【小学校での実技の様子】

◆ 一次救命処置技術指導会を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和5年9月7日（木）、救急医療週間の一環として、志賀町地域交流センターにおいて、管内の事業所を対象とした一次救命処置技術指導会を実施しました。

これは、一次救命処置に関する知識や技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、11チームが出場し、一次救命処置の正確性や迅速性を競うとともに、生命の尊さについて感じてもらうことができました。

今後も、救急に関する普及啓発を継続し、救命率の向上を目指してまいります。



【指導会の様子】



【指導会後の記念撮影】

◆ 福島ファイヤーボンズチアリーダーズを一日救急隊に任命

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和5年9月8日（金）、救急医療週間の一環として、郡山市をホームタウンとするバスケットボールBリーグの福島ファイヤーボンズチアリーダーズのレイグリッターズの3人を一日救急隊に任命し、広報活動を実施しました。

当日は、救急シミュレーションの訓練において、レイグリッターズの3人が救急隊員やバイスタンダーを演じたほか、郡山駅前広場において、救命の連鎖の重要性について訴えるとともに、救急車の適正利用や予防救急に関する啓発グッズを配布しました。

今後も、さまざまな地域団体と積極的に連携してまいります。



【任命式の様子】



【救急シミュレーション訓練の様子】

◆ 一日救急隊長を任命

菊池広域連合消防本部（熊本）

菊池広域連合消防本部では、令和5年9月8日（金）、救急医療週間の一環として、医療法人弘仁会熊本総合医療リハビリテーション学院の救急救命士を目指している学生3人を一日救急隊長に任命し、救急啓発活動を実施しました。

これは、救急に関する普及啓発活動を行うとともに、女性活躍推進につなげることを目的として実施したものです。

当日は、一日救急隊長の委嘱状の交付式を行った後、今年度に当消防本部が導入する電動ストレッチャーのデモ機を活用した訓練を実施しました。

また、当消防本部の女性救急隊長の指導のもと、市役所の来庁者や女性消防団員に対して救急講習を実施しました。



【救急講習の様子】



【一日救急隊長（向かって右の3人）
と記念撮影】

◆ 救急の日に伴う広報イベントを実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和5年9月9日（土）、管内の大型商業施設において、救急の日に伴う広報イベントを実施しました。

このイベントは、来場者に対して、救急に関する正しい知識や認識を周知し、救命率の向上につなげることを目的として実施したものです。

当日は、救急に関する動画を放映したほか、AEDを使用した応急手当の体験ブースを設けるとともに、救急車の適正利用や救急医療電話相談（＃7119）に関するリーフレットを配布しました。

今後も、市民・消防・医療による救命の連鎖に関する広報を継続し、一人でも多くの命を救えるよう救命率の向上に努めてまいります。



【広報イベントの様子】

◆ 消防・救急フェアを開催

久慈広域連合消防本部（岩手）

久慈広域連合消防本部では、令和5年9月10日（日）、消防・救急フェアを開催しました。

このフェアは、地域住民とのふれあいを通して、防災意識の高揚を図るとともに、救急医療週間の一環として、応急手当の知識や救急活動への理解を深めることを目的として実施したものです。

当日は、はしご車搭乗体験、放水体験、応急手当体験などを行ったほか、各種車両・資機材の展示を実施しました。

また、共催の久慈市総務部防災危機管理課が、記念缶バッチの作成ブースを設けたほか、久慈チアダンスクラブ「Cherish（チェリッシュ）」が特別出演し、ダンスを披露しました。

今後も、地域住民とのつながりを大切に、安全・安心な街づくりに努めてまいります。



【消防・救急フェアの様子】

◆ 電光掲示板を活用した救急啓発活動を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、令和5年9月1日（金）から10日（日）までの10日間、ZOZOマリンスタジアムとイオンモール幕張新都心の電光掲示板を活用した、救急啓発活動を実施しました。

期間中は、救急安心電話相談（＃7009）や救急に関する情報を、電光掲示板に放映して来場者に広報しました。

今後も、関係団体と連携して各種啓発活動に努めてまいります。



【ZOZOマリンスタジアムの電光掲示板の様子】

◆ 「救急フェア2023」を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和5年9月10日（日）、イオン具志川店において、「救急フェア2023」を開催しました。

このイベントは、来場者に対して、救急車の適正利用について周知するとともに、救急業務への理解を深めることを目的として開催したものです。

当日は、市民への健康相談や、応急手当体験のコーナーを設けるとともに、救急車・消防車・ドクターヘリなどの展示を行いました。

また、救急隊員の教育にご尽力いただいている医師に対して、消防長から感謝状を贈呈したほか、一日救急隊長に任命された、当市出身のバンドグループHY（エイチワイ）の名嘉俊氏が、救急車の適正利用について広報するとともに、応急手当の実演を披露しました。



【救急フェア2023の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

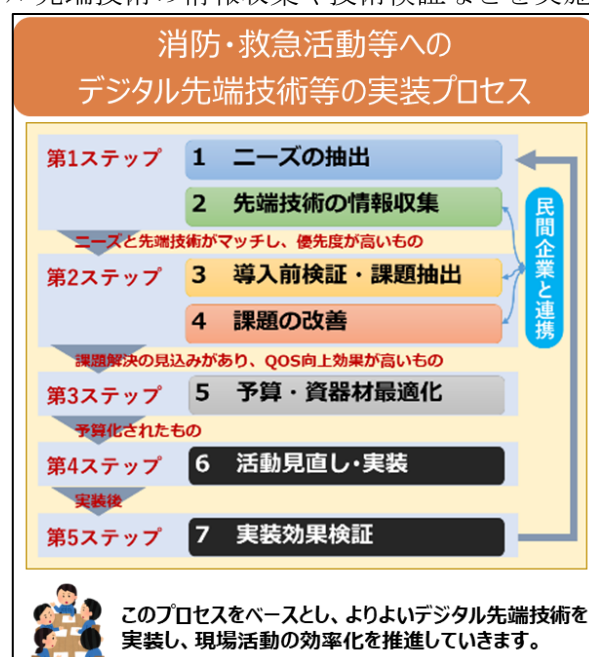
◆ 消防・救急活動等へのデジタル先端技術等の実装に向けた官民連携プロジェクトを推進

東京消防庁（東京）

1 プロジェクトの概要

東京消防庁では、令和3年度から、デジタル先端技術などをスピーディーに消防業務や現場活動に導入することを目的とした官民連携事業を推進しています。

「デジタル先端技術等の実装プロセス（以下「実装プロセス」という。）」を策定し、民間企業との連携により、デジタル先端技術の情報収集や技術検証などを実施していく方針です。



2 令和5年度デジタル先端技術等の「情報収集」に係る公募の実施計画

本公募は、「実装プロセス」の第1ステップにあたる事業です。

本年10月から12月までの間、下表のテーマに関するデジタル先端技術などの「情報提供」にご協力いただける民間企業を公募する計画です。

今回の公募により情報収集したデジタル先端技術などについては、令和6年1月頃に情報提供を希望する消防本部に送付を予定しています。

情報提供の希望調査につきましては、別途、週間情報にてご案内する予定です。

なお、昨年実施した情報収集公募結果につきましては、「週間情報（No. 0512）」をご参照ください。

No.	公募テーマ	キーワード
1	活動中の隊員個人の情報（バイタルサイン、心理状況、位置等）を測定できるウェアラブルデバイスに関する情報	#隊員情報（バイタルサイン、心理状況、位置等） #ウェアラブルデバイス
2	山岳における遭難者等の最新の位置情報の把握に関する技術情報	#山岳遭難 #位置情報把握 #各種登山用GPSアプリ
3	火災現場での消防活動時において、周囲温度の直感的な知覚を支援する製品や技術に関する情報	#火災現場 #雰囲気温度把握 #温度の直感把握（方向等も振動等で感知）
4	音楽隊演奏業務に関わる現地調査時間の短縮に向けた技術情報	#VR #AR #仮想空間上での現地調査 #仮想空間上での会場設営
5	救急活動における情報管理の効率化及び利活用に向けた技術情報	#音声情報のテキスト化 #AIによる文書の自動作成
6	救急隊の活動時間のリアルタイムな把握による適時適切な勤怠管理の推進に向けた技術情報	#勤怠管理システム
7	AI技術を活用した救急相談センターの更なる効率化及び都民満足度向上のための技術情報	#音声認識 #自然言語処理 #チャットボット #予測分析・リアルタイム分析
8	「EV×DX」で実現する先進消防車両に関する情報	#消防車両 #電動ポンプ車 #コネクテッドカー #ハイブリッドポンプ車
9	VR技術等を活用したポンプ車運用訓練の実現に関する技術情報	#ポンプ運用訓練 #VR関連ソフトウェア #VRヘッドマウントディスプレイ #CG技術
10	フリーテーマ（企業提案型テーマ）	#フリーテーマ #提案型 #技術シーズの紹介

【「情報収集」公募ページ】

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kikakuka/koubo/jouhou/index.html>

3 令和5年度デジタル先端技術等の「技術検証等」に係る公募の実施状況

本公募は、「実装プロセス」の第2ステップにあたる事業です。

昨年実施した情報収集公募結果等を踏まえ、本年6月から7月までの間、下表のテーマに関するデジタル先端技術などの実装に向けた「技術検証等」にご協力いただける民間企業を公募しました。

今後、選定企業と連携協定を締結し、技術検証等を実施していく計画です。



	公募テーマ	採択企業数
1	「住まいの防火防災診断」のデジタル化	1
2	VR技術を活用した救急活動訓練の実現	2
3	建築物の複雑・多様化に対応した火災避難シミュレーションの導入	4

【「技術検証」公募結果ページ】

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kikakuka/koubo/digital/kekka.html>

消防学校からの便り

◆ 大規模災害対応訓練を実施

和歌山県消防学校（和歌山）

和歌山県消防学校では、令和5年8月31日（木）、9月1日（金）の2日間、当校の訓練施設において、大規模災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、初任教育第47期の訓練成果の集大成として、昼夜を問わない長時間の活動や、厳しい環境下での活動を行うことにより、消防士としてさまざまな困難に対応できる精神力やチームワークの醸成を図ることを目的として実施したものです。

当日は、大規模な地震災害を想定して、宿营地設営訓練、土砂災害対応訓練、一般災害対応訓練、遭難者捜索訓練、夜間救助訓練、夜間建物火災対応訓練などをブラインド型で実施しました。

すべての訓練を全員で乗り越えた後の達成感に満ちた学生たちの姿を見て、今後の当県の未来を守ってくれるものと確信しました。

今後も、積極的に人材育成を行うとともに、消防職員に対する教育訓練の充実強化を図ってまいります。



【訓練の様子】



【宿营地の様子】

◆ 令和5年度救急救命士養成課程開講式を実施

札幌市消防局救急救命士養成所（北海道）

札幌市消防局救急救命士養成所では、令和5年9月5日（火）、令和5年度救急救命士養成課程開講式を実施しました。

今年度は、30人の研修生（当消防局11人、北海道内14消防本部15人、仙台市消防局4人）が入講し、救急救命士の国家試験に合格することを目的として、約半年間の研修を実施するものです。

期間中は、ドクターヘリや航空隊の連携訓練などもカリキュラムに取り入れ、座学講義とシミュレーション訓練を実施します。

来年度の救急救命士養成課程も、全国の消防本部から研修生を受け入れる予定です。

地域のプレホスピタルケアの充実を目指して、共に頑張りましょう。



【開講式後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令等の公布について

(消防危第249号、令和5年9月19日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令及び危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件が令和5年9月19日に公布されました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230919_kiho_249.pdf) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁危険物保安室

担当 : 早川、若菜

TEL : 03-5253-7524

E-mail : fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

(令和5年9月14日、消防庁)

令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者 13団体

(受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。)(別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/61cb97b932e3893f8fdd2740731720a3d6d02c18.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

山澤政策評価広報官・横堀係長・吉良山事務官

TEL 03(5253)7521 内線 42177

Mail fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際は、「@」に変更してください。

◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募の結果及び改正省令等の公布

（令和5年9月19日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）等の内容について、令和5年6月1日から令和5年7月3日までの間、国民の皆様から御意見を公募したところ、10件の意見の提出がありました。意見公募において提出された意見の概要及び意見に対する総務省の考え方を取りまとめましたので公表します。

また、意見公募の結果も踏まえ、当該省令等を本日公布しましたので併せてお知らせします。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/34060981630624b7ca00bd0d73697ce2b640d7d0.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）

消防庁危険物保安室 担当：早川、若菜

TEL：03-5253-7524（直通）

E-mail：fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

情報提供

◆ 令和5年度消防大学校特別講習会を開催

消防庁消防大学校

平素より本校の教育訓練につきまして、格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

消防大学校では、入校・受講枠に制約がある消防大学校の講義受講機会の拡充を図るため、警防業務の指導・監督者に対し、業務に必要な知識及び能力を修得させ、教育指導者としての資質を向上させることを目的とした特別講習会を開催しているところです。

今年度についても、昨年度に引き続き、対面形式による講習会及び全ての消防本部が視聴可能なリモート形式による講習会を実施することとしました。

詳細については、各都道府県あて通知をご覧ください。

1 対面形式

- (1) 令和5年10月12日（木）13時00分～16時30分

開催場所：TKP札幌カンファレンスセンター

（札幌市中央区北3条西3丁目1－6）

定員：100人

- (2) 令和6年 2月 9日（金）13時00分～16時30分

開催場所：徳島シビックセンターさくらホール

（徳島市元町1－24番地）

定員：150人

2 リモート形式

- (1) 令和5年12月20日（水）9時30分～12時00分（東日本対象）

- (2) 令和5年12月21日（木）9時30分～12時00分（西日本対象）



【昨年度の特別講習会の様子】

3 講義内容

消防大学校の概要説明（講師：消防大学校教務部 助教授）

現場の安全管理（講師：消防大学校教務部 教授）

4 受講料

無料

5 その他

- ・Webexを使用して実施します。
- ・視聴URLは後日送付します。
- ・同時視聴接続数に上限があるため、1消防本部等につき1箇所（1端末）での視聴を厳守してください。（モニター等に映して大人数で視聴することは可）
- ・上記理由により日程の変更はできません。
- ・視聴URLは消防本部等内でのみ使用し、外部に流出しないようご注意ください。
- ・録音・録画は厳禁です。

その他ご不明な点につきましては、次の担当あてご連絡下さい。

<担当>

- 講習会の参加方法・内容に関すること
消防大学校教務部

伊藤(彩)、大西 (t.ohnishi@soumu.go.jp)

TEL：0422-46-1714

- 上記以外

斎藤 (fdmc-k@soumu.go.jp)

TEL：0422-46-1712

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。